

ご使用前に必ず本紙と取扱説明書を最後までよくお読みください。

プロミスト
PK-604EX (S)

20211116 v3

本製品を開封した際、プール部などに水滴が付いている場合があります。

本製品は、出荷前に水を入れて運転試験を行っています。異常ではありませんのでご了承ください。

本製品の設置場所にご注意ください。

本製品を電気製品や紙類などの水濡れに弱いものや、布巾・タオルなどの敷物の上、貴重品の上または近くに設置しないでください。本製品は、水平な場所に設置してください。傾きのある場所に設置しますと、水位センサーの働きにより、プール内に液剤があっても噴霧を停止する場合があります。また、ミストが物（壁、カーテン、衣類、電気製品、紙製品、金属類など）にかからないように設置してください。

【参照】 取扱説明書「設置について」(5～6ページ)

長く上手にお使い頂くためにはお手入れが必要です。

次亜塩素酸水を噴霧していると、水に含まれるミネラル成分が振動子周辺に付着（スケールの付着）することがあります。

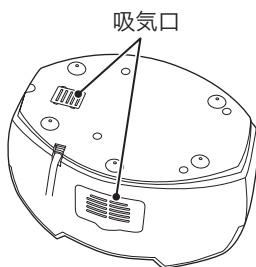
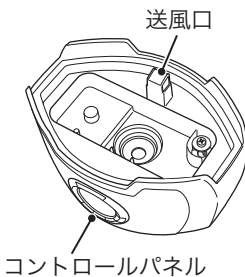
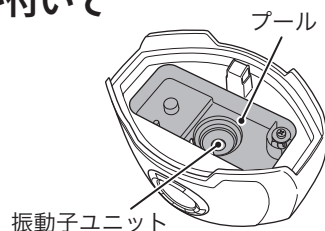
スケールの付着が進行すると振動子の寿命低下やパッキンの劣化を早めるため、取扱説明書をご参考に、お手入れを行ってください。

【参照】 取扱説明書「お手入れの仕方」(14～15ページ)

本体部の送風口や吸気口(底面・背面)から液剤や水が入らないようご注意ください。

- ・タンクの脱着やお手入れのときは、送風口から液剤や水が入らないようご注意ください。
- ・本製品を移動する際は、必ずタンクを本体から取り外し、プール内の液剤をこぼさないように行ってください。
- ・お手入れの際などに、吸気口(底面・背面)から水が入らないようご注意ください。
- ・コントロールパネル周辺が液剤や水で濡れないようご注意ください。

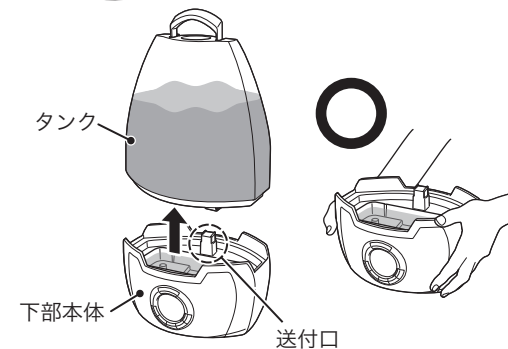
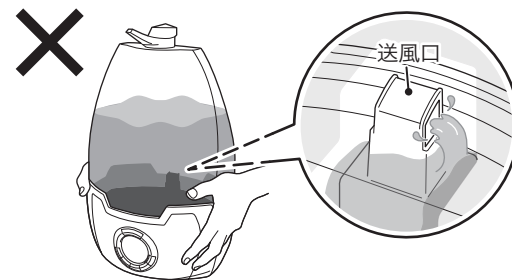
内部に液剤や水が入ると故障の原因になります。



液剤(水)の入った状態で本製品を持ち運ぶなどの移動はしないでください。

揺れによって、プール内の液剤(水)が送風口から本体内部へ入り込み送風ファンや電気基板の故障の原因になります。

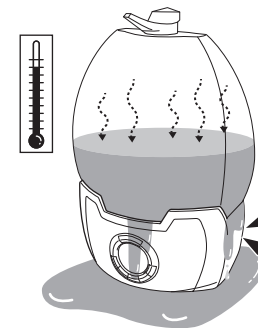
本製品を移動する際は、必ず下部本体からタンクを取り外して、プール内の液剤(水)をこぼさないように注意してください。



タンク内の空気膨張により液剤漏れを起こすことがあります。

タンク内の空気が温まると、空気が膨張して液剤を押し出し、タンク部と本体部の間から液剤が漏れることがあります。1日の気温の寒暖差が大きい場合、日光や暖房器具の熱でタンク内の空気が温まった場合に、この現象が起こることがあります。噴霧器の故障ではありませんので、寒暖差(温度変化)が大きくなりやすい場所でご使用ください。

特に日光が差し込む窓際、暖房器具の近くやエアコンの風が直接本体に当たるような場所を避けて設置してください。やむを得ず寒暖差が大きい部屋に設置する場合は、タンクに液剤を多く入れた(空気の量を少なくした)状態でご使用頂くことで、空気の膨張による液剤漏れを防ぐことができます。



本製品には空間噴霧に適した次亜塩素酸水(または、水で希釈した次亜塩素酸水溶液)以外のものを入れしないでください。